

京大病院広報

- Kyoto University Hospital -

京都大学医学部附属病院 広報編集委員会



- 目次 -

1. 定年退官教授挨拶
外科（第二外科）教授 山岡義生
内科（神経内科）教授 柴崎浩
眼科教授 本田孔士
核医学科 教授小西淳二
2. 本院の動き
3. 各科・部からのメッセージ
4. 読者より
5. 外来診療担当医師一覧表

ご意見、ご感想は下記までお願いいたします。

京都大学医学部附属病院 広報編集委員会 （事務担当：総務課庶務掛）

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

Eメールアドレス koho@kuhp.kyoto-u.ac.jp

ホームページ <http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp>

Tel. 075-751-3111

Fax. 075-751-6151

- 定年退官教授挨拶 -

外科（第二外科） 教授 山岡義生

私の医療に対する基本的な考え方は極めて平凡で「個々の患者さんにとって一番有利と考えられる治療を選択し実行すること」でした。教授として9年間、主に働いてきた南4階病棟は、今でこそあたりまえになった混合病棟で、片や心臓外科で大忙し、片や肝臓外科、生体肝移植と血みどろの世界が共存してきました。補助婦さんは一人でてんてこ舞い、看護師は疲労困憊しながらもたくましくなる、医者はサバイバルゲームのような生活。お互いにいろいろな考え方、思い入れがあっても、この基本的な考え方を表に出して話し合えばほとんどのことが解決しました。ただ、患者さんのために必死に忙しく働き、膨大な費用をかけることは先端医療の原点であると自負し、若い？血潮を煮えたぎらせてきましたが、一般的には歓迎されず、むしろ迷惑がられる不思議を味わったのも事実です。カンファレンスルーム、当直室などなど悪条件の中、両科の医者は仲良く助け合い、看護師も遅く成長していったし、心やさしく優秀な人たちを輩出することが出来ました。そんなことで、退官にあたっての感想というと、「よくぞ皆さんがんばってくれました、ありがとう」に尽きます。

内科（神経内科） 教授 柴崎 浩

「京大病院の発展を祈って」

私は1990年に新設された脳病態生理学講座に初代教授として赴任しまして以来、約13年間にわたって病院協議会に出席させていただきました。初めの9年間は診療科長ではありませんでしたので、病床稼働率や在院日数などを余り気にしないで参加させていただきました。しかし最近の3年半は、神経内科の臨床科長として、かなり切実な思いで参加させていただきました。病院のためには大してお役に立てませんでしたが、最近2年間は病室等管理委員会の委員長を務めさせていただき、2003年2月に実施されました病棟再編成のお世話に多少関与させていただきました。大学病院は独立行政法人化というこれまで経験したことがないような大きな変化を遂げようとしています。このような時こそ病院経営の真の専門家が、しかも複数の専門家が必要であると信じます。長期間にわたって本当にお世話になりました。京大病院のご発展を心からお祈り致します。

眼科 教授 本田孔士

先ずは在任中お世話になった皆様に厚く御礼申し上げます。今、我々は大学の独立行政法人化、医療への強い経済効率性の要求など、歴史的に見ても、かなり異常な時代にあります。熱心に良心的な医療を、誠意を持って行っている人が排除されたり不利な扱いを受けたりすることの無いよう、社会的に影響力の大きい京都大学の指導的発言が求められています。今、舵取りを誤ると後世に大きな禍根を残すこととなります。いくら国が経済的に苦しいからと言っても、医療の本質に関わる改悪には勇気を持って正論を主張し続けることが大切です。世論は必ず後から付いて来ます。

人間、健康があつての仕事であり、余暇の楽しみがあります。健康が損なわれては、仕事成就の喜びも、趣味の楽しみ何もありません。自己の健康維持のために、いざという時の医療のために、ある程度の投資が絶対に必要なのです。健康な人は、健康を当たり前のことだと思ひ込み、健康のために投資することを忘れがちです。良い医療にはある程度の費用がかかる事を説明するのは医療者の義務でもあります。

核医学科は昭和 51 年（1976 年）に核医学講座が設置されたことによりスタートした若い診療科です。急速な放射線医学の発展と分化に対応するために全国で 2 番目に設置されました。発足以来、放射線医学講座と複合講座体制で運営され、当科は核医学のみならず画像診断全般を担当して来ました。私は初代鳥塚名誉教授のあとをうけ、昭和 62 年 4 月に診療科長に着任しました。全国に先駆けて、超伝導型 MRI 装置が京大病院で稼働し始めた頃でしたが、その後も multi - detector CT や PET 装置など画像診断機器は目覚ましい進歩を遂げてきました。平成 6 年より阿部名誉教授のあとをうけ、放射線部長も拝命しましたが、この間、中央診療施設棟の新営、新外来棟への放射線部門の設置など施設面でも充実が図られました。画像診断は全診療科にサービスする部門です。迅速かつ正確な報告書を心がけ、治療方針を左右するような重要なデータを提供する必要があります。診療各科のご協力を得て、機器と人の capacity を最大限に生かしてご要望にお応えするべく、教室員および放射線部の教官、技官を挙げて取り組んできました。近年の緊縮財政のあおりを受け一部の機器の更新に遅れが出たことは残念でしたが、産学連携によりなんとかこれも乗り切ることが出来ました。また、臨床における最初の寄付講座（日立メディコ）「映像医療学」の支援講座として、同講座が画像診断の研究と教育の両面で大きな成果を挙げてきたことを喜んでいます。

京大病院における高度先進医療を支える縁の下の力持ちに徹することで、画像診断専門医の役割が少しずつ評価されてきたと思います。心置きなく退官の日を迎えることが出来、皆様に心から感謝申し上げます。



（京大病院前ホスピタルパーク）

2.1 - 本院の動き -

患者サービスの観点からの選択メニューを導入して

栄養管理室 幣 憲一郎

はじめに

病院から提供される患者の食事は、治療の一環であるという認識の反面、いまやフードサービスの質が求められる時代となっており、時間、温度の管理に加え、嗜好を考慮した個別対応など病院食の改善が要求されている。特に複数のメニューから食事を選択する方式は病院給食業務において基本項目となりつつあるといっても過言ではない。

選択メニューの基本的な考え方

選択メニューについては、アメニティーや喫食率が向上するなどのメリットがある反面、実施にあたっては、患者の嗜好を優先するあまり栄養素の偏りを起こし、治療効果の妨げとならないよう注意する必要がある、どのくらいの頻度で（毎日では選択が苦になる？）、また幾つのメニューから選択させるのが適かなど多くの課題をクリアする必要があるものの、当面は比較的治療上の制約が少ない一般食（常食・軟食）を対象として、現有人員・現有設備で実施できることから始めてみることにした。

選択メニューの具体的実施方法と今後の方向性

実施手順としては、「選択メニュー献立表」（図1）を前週金曜日にナースステーション横に掲示し、選択当日は患者の食札に選択希望表を印字、チェックされた用紙を選択用紙回収ボックス（図2）に投函頂くスタイルで運用し、簡便性にも配慮した。回収された用紙は、栄養管理室でオーダー登録を行い、水曜日の夕食には患者の手元に選択された食事が届くという手順で運用している。

病院経営上、気になる診療報酬による加算は、患者1人1日50円と低額であり、その採算性を考えると選択食実施に踏み切ることに消極的にならざ

るをえないが、喫食量を増やし治療効果へ結びつけるためには、患者の嗜好にも配慮した対応が必要であると考えている。さらに、次期システムでは、ベッドサイド端末の設置により、患者自身でのフリータイムな選択食登録を可能とし、ベッドサイドで喫食調査や栄養評価も登録できるシステムを要望している。



図 1



図 2

おわりに
 現在、実施病棟ごとにアンケート調査を実施し、「選ぶ楽しみ」としての

食事満足度が上がり、対象患者の約90%から満足しているとの回答を得ており(表1)、前述した課題に対しては、今後さらなる改善を検討中である。

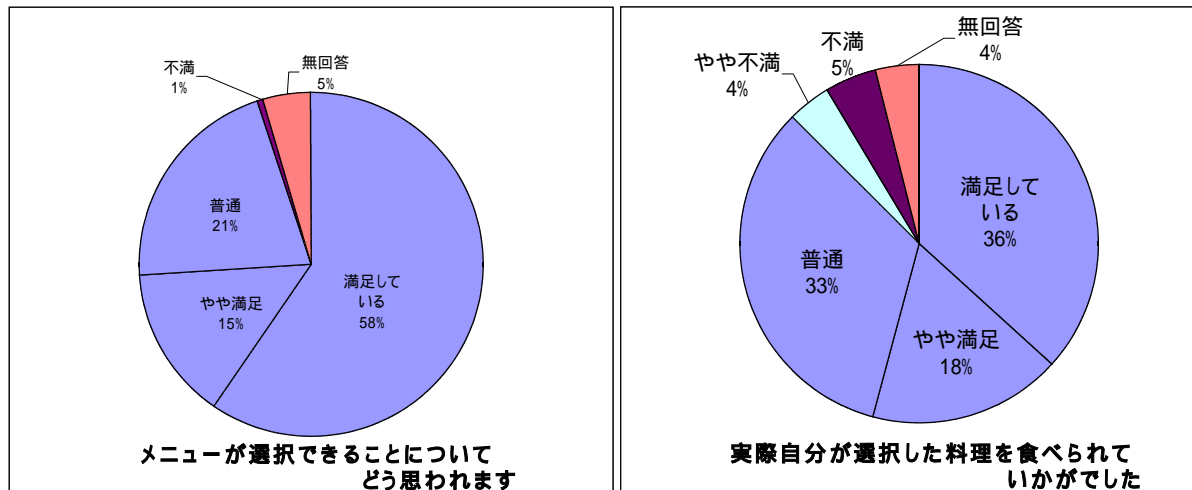


表 1

2.2 - 本院の動き -

3月1日より中央診療部門を統合再編し、**中央診療センター**を設置した。

平成14年度第2回目の**消防訓練**が、3月11日に西病棟で行われ、夜間の出火を想定した避難誘導訓練や消火器操作訓練などを行った。

芝蘭会臨床懇話会が3月16日に臨床第一講堂で開催された。本懇話会は、地域で活躍されている諸先生方と本院診療科長などとの意見交換、並びに本院の情報提供の機会を設け、本院と地域医療との連携をさらに充実させるため開催しており、本年で6回目を迎えた。新任教授の紹介や京大病院の近況報告及び基調講演等が行われ盛会のうちに終了した。

本院における脳死ドナー患者発生時に対応する体制づくりの一環として、3月18日に日本臓器移植ネットワー

クコーディネーターの参加協力のもと**臓器提供シミュレーション**が行われた。これまでに、連絡体制の確認及び脳死判定の手順に限定したシミュレーションは数回行っており今回のシミュレーションは、発生から遺体のお見送りまでの一貫したものである。この結果を踏まえて、院内のマニュアルを作成する予定である。

病院長が病院経営に関し適切で迅速な決定を行うために、4月1日より病院長の下に**経営企画部**が設置された。

4月1日より**病院長補佐制度**が導入され、瀬戸山 元一医学部客員助教授、一山 智教授、乾 賢一教授、嶋森好子看護部長、門山 勇事務部長が選任された。

急性期病院、診療所、介護、在宅など垂直統合の医療事業体である、米国

セントラ・ヘルスケアの経営陣が4月1日に本院を訪問した。非営利のIHN（Integrated Healthcare Network：地域の医療事業体）の最新情報について紹介があり、中村孝志副病院長、福島雅典教授、伊藤裕助教授らが、日本の先端医療、倫理問題、病院運営などについて説明の後、活発に意見交換が行われた。

平成15年度の**院内学級入学式**が4月9日北病棟3階の小児科プレイルームで行われた。中畑小児科教授ら院内関係者、京都市教育委員会の方々をはじめ多数の関係者の列席のもと、式は終始なごやかなムードであった。

特定機能病院における**包括評価制度に関する院内説明会**が4月14日から16日にかけて開催された。医師、看護師、事務官が多数出席し、診断群別・医療機関別包括評価の概略及び包括評価導入に伴う本院の対応についての説明があった。本院導入は平成15年7月から。

医員・医員（研修医）オリエンテーションが4月30日から5月13日にかけて開催された。受講生は各科（部）等の説明や、「医療事故発生防止」、「医療紛争防止」、「保険診療のしくみ」、等の講義を受けた。また、心肺脳蘇生の演習、看護部・検査部・薬剤部における実習を行った。

5月12日、外来棟A会議室にて**ボランティア懇談会**が開かれた。これは本院で活動されているボランティアの方々や医師、看護師を含めた本院職員との懇親の場あり、毎年度開催している。今回の出席者は、ボランティア側24名、病院側は医師、看護師を含め17名の大盛会となった。長年熱心

にボランティア活動をされている5名には病院長より感謝状が贈呈された。立食形式で開催され、ボランティアの方々の生の声を聞ける貴重な意見交換の場となり、職員にとっても意義深いものとなった。

探索医療センターでは、平成15年度は公募件数2件の**流動プロジェクト**に対して、学外から11件、学内から9件の合計11件の応募があり、その中から8件を選定しヒアリングを実施した。その結果、心筋幹細胞と骨格筋由来細胞による心筋形成と血管系幹細胞移植による血管新生を利用して末期的心不全への再生医療の確立を目指す「重症心不全への細胞移植プロジェクト」、並びにチオレドキシンによる急性肺障害に伴う低酸素血症の治療法の確立を目指す「チオレドキシンプロジェクト」の2件が採択され、6月から研究を開始している。

国際疾病分類（ICD）の重要性の理解を深めることを目的として、「**ICD-10**」の講演会が、6月2日に臨床第一講堂で開催された。臨床経験1年未満の研修医及び医員・医師約120名が出席した。疾病分類の講義と「疾病、傷害及び死因統計分類概要」を使用したコーディングの実例が行われ、出席者は熱心に受講していた。

6月9日より**女性のごころとからだの相談室**が運用を開始した。女性のライフサイクルに関わる身体と心の問題のケアに対して、各診療部門と相談部門が連携し、トータルシステムで対応する。

- 各科・部からのメッセージ -

循環器内科：エコノミークラス症候群がマスコミで取り上げられるなど、肺塞栓が世間で注目されています。当院でも手術後肺塞栓の頻度が増加傾向にあり、看過

できない現状です。欧米では肺塞栓の頻度が多いこともあり術後肺塞栓予防対策がしっかり行われていますが、本邦では十分な予防策が行われていませんでした。

この度、当科を中心として院内手術後肺塞栓予防マニュアルを作成致しました。このマニュアルの普及により、術後肺塞栓の発症が大いに軽減することが期待さ

れます。

老年内科：外来においては疾患からみた身体的機能のみならず、精神・心理的、社会・環境的側面を重視した生活機能障害の見地も加えた、包括的な評価を行っています。また、「物忘れ外来」にて、痴呆症の診断と治療に重点を置いています。入院においても生活や環境に介入が必要であると考えられる高齢入院患者に対して医師、看護師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士などの専門家を交えて合同カンファレンスを開き、具体的な症例の検討ならびに診療方針の決定を行っています。

神経内科：人口の高齢化とともに痴呆性疾患が増えています。特に、非アルツハイマー型変性性痴呆では、夜間せん妄やパーキンソン病症候の合併がしばしばみられ、治療やケアに難渋する場合があります。このうち、Lewy 小体を伴う痴呆症では、中枢性アセチルコリンエステラーゼ阻害薬が奏功する場合があります。また、夜間の不穏には選択的セロトニン取り込み阻害薬が有効な場合があります。こうした症例については、短期入院で詳細な病型の判断を行い的確な治療をすることが可能ですので、是非ご相談ください。

糖尿病・栄養内科：糖尿病と糖尿病合併症の治療で良好な成績を収めています。患者さん個々のライフスタイルに合わせたきめの細かい食事指導、運動指導で患者さんの高い満足度も得ています。また薬物療法はハイレベルのエビデンスに基づいています。一度教育入

院（3日間コースから）を行えば、自己管理の方法が身に付き、5年後の合併症の発症、進展を高い確率で抑えることができます。是非ご相談ください。電話 075-751-3560（医局直通）

外科（第一外科）：胃・食道、膵・胆道、大腸の難治性疾患が、数多くの施設から紹介されてきています。膵癌治療では合併症が少ない安全な手術と、新しい抗癌剤により治療成績が向上しました。膵癌に対するミニ骨髄移植も、血液・腫瘍内科との共同で実施する準備を完了しています。膵内分泌腫瘍の SASI テストによる局在診断と治療は国際的に高く評価されています。食道癌治療でも最新の分子生物学的な研究の成果も合わせ、安全な手術と治療成績の向上があります。直腸癌再発の手術では本邦有数の治療成績です。患者や家族の意見を尊重し、十分な説明と同意の下に治療・手術を行うだけでなく、外来患者とも迅速に連絡できるシステムを確立していますので、お気軽にご相談下さい。（ホームページ：<http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/~surgery1/index.html>）

眼科：当科では一般初再診外来に加えて、緑内障・角膜・網膜色素変性症・ロービジョン・神経眼科・ブドウ膜・黄斑・斜視弱視・循環・眼窩・コンタクト専門外来が患者様の疾患に応じて対応しております。入院手術は遠方よりご紹介の患者様も従来より多く担当させていただいておりますが、近年は一般化しつつある日帰り外来白内障手術に加えて、当院循環外来の t o p i c といたしましては、従

来では長期入院・硝子体注入術を施行、良好な成績をあげており、患者様の負担軽減・入院手術時に比べ合併症の軽減・治療期間の短縮にも大きく寄与しているのが特徴です。手術適応などございますので、一般初再診外来および循環外来の担当医までご相談ください。

産科婦人科：当科の岡林秀一第三代教授が約80年前に子宮頸癌に対する根治手術（広汎性子宮全摘術）を世界に先駆けて開発し、これが現在では岡林術式と呼ばれる世界的な標準術式の基本となっています。本術式は産婦人科領域では最も大きな手術のひとつですが、当科ではこれをより安全で確実なものとするために、手術機器の進歩と手技の改良をふまえて、骨盤解剖に基づいた新しい術式を開発しました。その結果、子宮摘出までの出血量は2500cc前後で、ほとんど輸血を行う必要がなくなり、さらに神経を可能な限り温存することにより術後の膀胱麻酔や直腸麻酔などの後遺症の軽減をはかっております。本法の繊細な手術操作は他の産婦人手術にも応用し、子宮頸癌以外の手術においても、出血量の軽減と機能の温存をこころがけ、良好な成績を上げております。

歯科口腔外科：「開口障害」に注意を。顎関節症、顎関節強直症などの顎関節関連疾患や智歯周炎などの顎関節関連疾患や、智歯周囲炎などの歯性感染症や慢性化した下顎骨骨髓炎、顎放線菌症や破傷風でも開口障害が出現します。顎顔面が外傷での開口障害を伴う下顎関節突起骨折や頬骨/頬骨

弓骨折の診断の遅れは整復治をときとして困難にします。また口腔に症状を持つジストニアや、また口腔癌の進行例で腫瘍が咀嚼筋へ浸潤すると強い開口障害が出る場合があります。「口があけづらい、開かない」訴えがあれば歯科口腔外科への受診を勧めて下さい。

麻酔科：当科は手術部、デイ・サージャリー診療部における手術時の麻酔管理並びに光学医療診療部、放射線部における検査、治療時の麻酔管理及びペインクリニック外来（疼痛外来）における難治性疼痛疾患（帯状疱疹後神経痛、三叉神経痛、反射性交感神経性萎縮症、癌性疼痛など）に対する集学的治療（神経ブロック、薬物療法、理学療法など）を行っています。ペインクリニック外来（075-751-3442）は月・水・金曜日の午前中に行っています。

形成外科：1977年に発足以来、一貫として顔面や手足の先天性疾患（口唇、口蓋裂、小耳症など）の治療に取り組んでいます。熱傷、癍痕、ケロイドの治療も当科の柱であり良好な結果を得ています。顔面外傷には新鮮例、陳旧例を問わず対応しています。最近が高齢者のQOLを高めるために、眼瞼下垂の治療を積極的に行っています。再生医療（培養皮膚など）の臨床応用を早く始めたいと考えています。

心臓血管外科：治療成績の向上に伴い各種心臓手術後の遠隔期再手術が増えています。CABG後の患者さんや、弁形成・弁置換後の状態あるいは大動脈瘤手術後

に他部位に瘤ができたケース、などさまざまです。私達は開心術の再手術でも本場の技術で安定した成績を出しており、アメリカと韓国で手術を受けた4度目手術の3弁置換(学会で発表)はじめさまざまな状況を安全にこなしています。諦めるまえにご相談を！（心臓血管外科ホットライン 075-751-3788 または 3789 まで）

心臓血管外科：世の中には「気むずかしい」と言われる患者さんが少なからずおられます。その内容は誤解や情報不足、そこから来る恐怖心、家庭の事情などさまざまです。ただそこで言えることは、手術すれば治るべき患者さんが「気むずかしい」というだけのことで手術から遠ざかり悲しい転帰を辿ることが多いという現実です。そうした方には外来ではなく教授室にてソファに座ってじっくり相談を受けています。これまで病院を逃げ回っていた方でも誠実な相談によって考え直され手術を受けて元気になられたというケースが10例以上あります。是非ご相談を。（ご連絡は当科ホットラインまで）

呼吸器外科：「自分や自分の家族が受けたい医療を行う」ことを念頭に診療しています。（1）肺癌に対しては「切るだけの外科」を脱却した集学的治療を行っており手術成績は世界的にもトップクラスです。胸腔鏡を用いた低侵襲手術にも取り組んでいます。進行癌に対しても外来抗癌剤点滴治療などで治療効果を上げています。（2）今まで治療法がないとされていた呼吸器疾患に対して、肺移植

（国内4指定施設の1つ）、気管移植、肺気腫に対する外科治療など日本のパイロット役割を果たしています。連絡先：075-751-4975（秘書室）

輸血・細胞治療部：廃棄血の大幅な減少により、血液の総使用量が3割近く減少いたしました。貴重な医療資源である血液を大切に使用していただくため、輸血部は今後も引き続き院内におけるインテリジェントな輸血管理システムの構築を目指し努力してゆく所存です。【分子細胞治療センター】細胞治療、再生治療、移植治療など先端医療開発に必要な品質の保証された治療用細胞のプロセッシングを行うため開設されました。

集中治療部：本院集中治療部は厚生労働省の基準を満たす10床の診療スペースを有し、肝及び肺移植術、心臓外科手術、食道亜全摘術等の大手術の術後管理や院内外から入室する呼吸不全、敗血症、DIC、多臓器不全等の重症患者に対し24時間体制で診療にあたっている。集中治療部には常勤の医師と2ベッドに1名の看護師が配置されており、人工呼吸やCHDF、血漿交換、エンドトキシン吸着等の血液浄化、IABP(大動脈バルーンポンピング)やPCPS(経皮的心肺補助)のような補助循環等の高度医療を安全かつ効率的に行っている。

薬剤部：薬剤管理指導業務は、入院患者の服薬指導、薬歴管理、注射薬の薬学的管理、医師等への医薬品情報提供などを包括的に行うことにより、薬物療法の質的向上をめざすものとして

評価されています。特に、薬物体内動態等に基づく薬学的介入は医師から信頼を得て高い率で受け入れられています。平成11年4月より対象診療科も全診療科に拡大し現在月平均対象患者数600人、請求件数1200件で推移しています。質・量ともに更なる向上を図り、薬の専門家として医

療の質、患者サービスの向上に貢献できるよう努力したいと考えています。

探索医療センター：優れた基礎研究から生まれた医薬品、組織・臓器再生などの医療技術を厳密に評価しながら開発し、国民の健康と福祉を向上させることが指名です(<http://www.kutrc.org/>)

また、米国国立癌研究所(NCI)が威信をかけて作成し、全世界に向けて配信しているPDQ[®]最新がん情報の日本語訳を本年5月に完成させ、(財)先端医療振興財団臨床研究情報センターより配信しています。

(<http://www.ccijapan.com>)。

- 読者より -

「京大病院への患者紹介」

芝蘭会京都支部監事 児玉 宏(昭和37年卒)

京都市内で開業していることもあり、年間100例以上の患者さんを京大病院に紹介させていただいている。専門が乳癌なので癌の再発のほか、術後に発症した他の疾患でも随分お世話になっている。その結果ほとんどの診療科からは、的確で詳細な報告を頂いており大変感謝している。おかげで乳癌術後のfollow率も5年98%、10年95%となっている。ところが、或る診療科だけは全く報告がいただけず、その後の予後も皆目不明ということをししばしば経験している。紹介患者の場合、診療結果の報告と、患者さんの経過が安定したら、紹介医のもとに帰ってもらうのが原則と思われるが、これを実践していない診療科があるのは大いに問題である。こうしたことは各診療科(科長)に任せるのではなく、京大病院内に委員会を作って、より良い対処のルール作りを検討していただきたい。

「社会保険診療報酬支払基金審査員の立場から」

芝蘭会京都支部常任理事 鎌野孝和(昭和38年卒)

保険診療は極めて細かくルールが定められており、研究的な医療、普遍化していない医療は対象となっていない。(診療報酬点数表に記載されているかどうか。薬剤はその添付文書に記載されている適応・用法・用量に沿っているかどうか。)

審査では、病名と診療内容が合致しているかどうかが一番問題となり、不審な場合、査定或いは返戻処理となる。例えば適応病名のない薬剤の使用が実際、見られる(病名なくH2ブロッカー、PPIなど。高血圧病名での高脂血症薬など。併発症に対する臨時的投薬、例えば風邪薬、抗生物質など)。是非その都度病名を付けるよう習慣付けていただきたい。また返戻したものが時に無回答でそのまま再提出されることがありますが、必ず“点数表の解釈”など保険のルールブックを参照して対処、回答を頂きたいものです。

多忙なこととは存じますが、時には点数表薬価基準などにも目を通して、自分のやっている医療がどのくらいの費用になっているかにも少しは興味を持っていただきたいと思っております。

外来診療担当医表 1階 (2003年 7月)

京都大学医学部附属病院

1-A受付		総合診療科(L)				内線 4400 FAX 4402
診察室	曜日	月	火	水	木	金
101 TEL(4403)	午前	初診 瀬田 剛史 (総診)	初診 白水 倫生 (総診)	初診 浅井 篤 (総診)	初診 前田 健次 (総診)	再診 瀬田 剛史 (総診)
	午後	再診 玉城 浩己 (総診)	再診 白水 倫生 (総診)	再診 浅井 篤 (総診)		再診 藤村 聡 (総診)
102 TEL(4416)	午前	初診(学生係) 野口 善令 (総診)	初診(学生係) 岡田 好一 (総診)	初診(学生係) 酒井 達也 (総診)	初診(学生係) 松井 邦彦 (総診)	初診(学生係) こやま 小山 弘 (総診)
	午後		予防医療クリニック 松森 由希子 (総診)		予防医療クリニック 松森 由希子 (総診)	
103 TEL(4404)	午前	リエゾン精神医学 新宮 一成 (総診)		リエゾン 和田 信 (精神)	初診 中山 健夫 (総診)	初診 川上 剛 (総診)
	午後					再診 川上 剛 (総診)
104 TEL(4405)	午前	初診 酒井 達也 (総診)	再診 松井 邦彦 (総診)	初診 福井 次矢 (総診)	再診 新保 卓郎 (総診)	初診 酒井 達也 (総診)
	午後			再診 福井 次矢 (総診)	再診 新保 卓郎 (総診)	再診 酒井 達也 (総診)
105 TEL(4406)	午前	初診 松井 邦彦 (総診)	初診 猪飼 宏 (総診)	初診 河津 晶子 (総診)	初診 野口 善令 (総診)	初診 こやま 小山 弘 (総診)
	午後		再診 猪飼 宏 (総診)	再診 河津 晶子 (総診)		再診 こやま 小山 弘 (総診)
106 TEL(4407)	午前	初診 島田 利彦 (総診)	初診 四方 哲 (総診)	初診 島田 利彦 (総診)	初診 川上 剛 (総診)	初診 前田 健次 (総診)
	午後		再診 四方 哲 (総診)	再診 島田 利彦 (総診)	再診 川上 剛 (総診)	再診 前田 健次 (総診)
107 TEL(4408)	午前	初診 河津 晶子 (総診)	再診 野口 善令 (総診)	再診 こやま 小山 弘 (総診)	初診 宮澤 大輔 (総診)	初診 猪飼 宏 (総診)
	午後					
108 TEL(4409)	午前	初診 高橋 謙 (総診)	初診 宮澤 大輔 (総診)	初診 瀬田 剛史 (総診)	初診 高橋 謙 (総診)	初診 四方 哲 (総診)
	午後			再診 瀬田 剛史 (総診)	再診 高橋 謙 (総診)	再診 四方 哲 (総診)
109 TEL(4410)	午前	高齢者健康増進外来 堀内 久徳 (老年)	高齢者健康増進外来 若月 芳雄 (老年)	高齢者健康増進外来 担当医 (老年)	高齢者健康増進外来 村山 / 田中 (老年)	高齢者健康増進外来 荒井 / 武地 (老年)
	午後					
110 TEL(4411)	午前					
	午後					

1-B受付		整形外科(120)				内線 4400 FAX 4402
診察室	曜日	月	火	水	木	金
111 TEL(3696)	午前	骨粗鬆症外来 坪山 直生 (第1,3,5週午後)		脊柱外来 根尾 昌志	股関節外来 清水基行	
	午後	腫瘍外来 戸口田淳也(第1,3,5週) 坪山直生(第2,4週)	骨軟部系統疾患 戸口田 淳也 (第2,4週)	スポーツ腫瘍外来 中川 泰彰 (第1,3,5週午後)	股関節外来 川那辺 圭一	腫瘍外来 笠原 勝幸 (第2,4週)
112 TEL(3697)	午前	腫瘍外来 中山 富貴		脊柱外来 藤林 俊介	股関節外来 田村 治郎	
	午後	一般外来 吉田 真	一般外来 松本 泰一	一般外来 坂本 武志	一般外来 鈴木 隆	一般外来 大西 英次郎
113 TEL(3698)	午前	一般外来 田村 治郎	一般外来 藤林 俊介	一般外来 清水 基行	一般外来 安田 義	一般外来 中山 富貴
	午後	脊柱外来 坂本 武志		リウマチ外来 安田 義	上肢外来 担当未定	スポーツ腫瘍外来 中川 泰彰
114 TEL(4533)	午前	脊柱外来 根尾昌志(午前のみ)		リウマチ外来 中村 孝志	上肢外来 柿木 良介	スポーツ腫瘍外来 鈴木 隆
	午後					

専門外来の新患は紹介状が必要。無ければ115号室で受付

遺伝子診療部						内線 4400
診察室	曜日	月	火	水	木	金
遺伝子診療部A TEL(4541)		小杉 真司	依藤 亨	小杉 真司	藤田 潤	藤村 聡
遺伝子診療部B TEL(4545)		依藤 亨	藤田 潤	藤村 聡	小杉 真司	富和 清隆

前日までに予約が必要となります 075-751-4350

精神神経科外来担当医表

診察室	曜日	月	火	水	木	金
一診		林 拓二	岸本 卓三	村井 俊哉	深尾 憲二郎	山岸 洋
二診		岸 信之	野間 俊一	岡田 俊	吉岡 隆一	吉岡 隆一
三診		田原 明夫	山岸 洋	岸本 卓三	林 拓二	児童外来 岡田 俊
四診			吉岡 隆一		野間 俊一	村井 俊哉
五診			深尾 憲二郎		和田 信	
六診						岸 信之
七診						

処置室 : 3384 / 3394
事務室 : 3373 / 3374

2-A受付		消化器科(C)				内線 4425 FAX 4435
診察室	曜日	月	火	水	木	金
201 TEL(4444)	肝臓	消化器	肝臓・消化器	消化器・肝臓	消化器・肝臓	消化器・肝臓
	鍋島 紀滋 (消内)	青野 充 (消内)	千葉 勉 (消内)	西尾 彰功 (消内)	八隅 秀二郎 (消内)	
202 TEL(3684)	消化器	消化器・肝臓	消化器・肝臓	消化器・肝臓	肝臓	肝臓
	仲瀬 裕志 (消内)	誉田 芳孝 (消内)	澤田 光孝 (消内)	妹尾 浩 (消内)	河南 智晴 (消内)	
203 TEL(4368)			肝臓		肝臓	
			福田 善弘 (消内)		福田 善弘 (消内)	
204 TEL(4369)	肝臓	消化器	肝臓		肝臓	
	西田 直生志 (消内)	若月 芳雄 (老年)	西田 直生志 (消内)		米田 俊貴 (消内)	
205 TEL(4298)		腎臓科が使用	腎臓科が使用		腎臓科が使用	
			鍋島 紀滋 (第1週休診) (消内)			
266 TEL(4568) 水曜のみ使用			消化器 青野 充 (1,3,5週 血液)			

2-A受付		腎臓科(D)				内線 4425 FAX 4435
診察室	曜日	月	火	水	木	金
206A TEL(4424)						
206 TEL(4424)	腎疾患・高血圧	腎疾患・高血圧	腎不全・透析	腎疾患・高血圧	腎疾患・高血圧	腎疾患・高血圧
	家原 典之 (腎臓)	小野 孝彦 (循環器)	深津 敦司 (腎臓)	小野 孝彦 (循環器)	濱田 美子 (腎臓)	
207 TEL(4426)	高血圧 中尾一和(1,3,5週) 曾根正勝(1,3,5週) (内分泌)	腎臓・痛風・高血圧	高血圧・血管病	高血圧・副腎	高血圧・血管病	高血圧・血管病
	永江 徹也 (内分泌)	山原 研一 (内分泌)	伊藤 裕 (内分泌)	伊藤 裕 荒井 宏司 (内分泌)	伊藤 裕 荒井 宏司 (内分泌)	
208 TEL(4239)	腎臓・痛風・高血圧	腎疾患・高血圧	腎臓・痛風・高血圧	腎臓・痛風・高血圧	腎臓・痛風・高血圧	腎臓・痛風・高血圧
	向山 政志 (内分泌)	田中 芳徳 (腎臓)	菅原 照 (内分泌)	向山 政志 (内分泌)	横井 秀基 (内分泌)	
205 TEL(4298)			腎疾患・高血圧	腎臓	腎臓	
			武田敏也(午前)	長井 幸二郎 (老年)		

2-C受付		呼吸器科(G)				内線 4445 FAX 4450
診察室	曜日	月	火	水	木	金
217 TEL(4931)	初診・一般	初診・一般	初診・一般			初診・一般
	担当医 (呼内)	担当医 (呼内)	担当医 (呼内)			担当医 (呼内)
218 TEL(4923)	間質性肺疾患	一般	腫瘍	感染症	間質性肺疾患	間質性肺疾患
	長井 苑子 (呼内)	三嶋 理晃 (呼内)	三尾 直士 (呼内)	伊藤 稔 (呼内)	長井 苑子 (呼内)	
219 TEL(4575)	一般/感染症	睡眠時無呼吸・呼吸管理	睡眠時無呼吸・呼吸管理	睡眠時無呼吸・呼吸管理	睡眠時無呼吸・呼吸管理	一般/感染症
	平井 豊博 (呼内)	中村 敬哉 (呼内)	陳 和夫 (呼内)	中村 敬哉 (呼内)	平井 豊博 (呼内)	
220 TEL(4925)	腫瘍	喘息・慢性咳嗽	COPD	初診・一般	COPD	
	三尾 直士 (呼内)	松本 久子 竹村 昌也 (呼内)	室 繁郎 (呼内)	担当医 (呼内)	室 繁郎 (呼内)	
221 TEL(4926)	喘息・慢性咳嗽	喘息・慢性咳嗽	COPD	COPD	COPD	
	松本 久子 (呼内)	松本 久子 竹村 昌也 (呼内)	月野 光博 (呼内)		月野 光博 (呼内)	

2-B受付		内分泌・代謝科(E)				内線 4425 FAX 4435
診察室	曜日	月	火	水	木	金
209 TEL(4440)	内分泌代謝	神経内分泌	内分泌代謝	内分泌代謝	内分泌代謝	内分泌代謝
	小松 弥郷 (内分泌)	島津 章 (内分泌)	小松 弥郷 (内分泌)	八十田 明宏 (内分泌)	中尾 一和(1,3,5週) 佐久間 陽子(2,4週) (内分泌)	
210 TEL(4241)	内分泌代謝	甲状腺	内分泌代謝	内分泌代謝	内分泌代謝	内分泌代謝
	荒井 宏司 (内分泌)	須川 秀夫 (内分泌)	高屋 和彦 (内分泌)	森山 賢治 (内分泌)	赤水 尚史 (内分泌)	

2-B受付		糖尿病・栄養科(F)				内線 4425 FAX 4435
診察室	曜日	月	火	水	木	金
211 TEL(4434)	糖尿病	糖尿病	糖尿病・栄養	糖尿病・肥満	糖尿病	糖尿病
	中尾一和(1,3,5週) 益崎 裕章(2,4週)	細田公則 (内分泌)	益崎 裕章 (内分泌)	細田 公則 (内分泌)	伊藤 裕 荒井 宏司 (内分泌)	
212	糖尿病	糖尿病	糖尿病	糖尿病・運動療法	糖尿病・運動療法	
	井上 元 (内分泌)	海老原 健 (内分泌)	井上 元 (内分泌)	林 達也 (内分泌)	林 達也 (内分泌)	
213 TEL(4437)	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	
	月山 克史 (糖尿病)	福田 一仁 (糖尿病)	武田 智美 (糖尿病)	鈴木 春彦 (糖尿病)	福島 光夫 (糖尿病)	
214 TEL(3564)	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	
	安田 浩一朗 (糖尿病)	山田 祐一郎 (糖尿病)	津田 謹輔 (糖尿病)	藤本 新平 (糖尿病)	山田 祐一郎 (糖尿病)	
215 TEL(3674)	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	
	細川 雅也 (糖尿病)	清野 裕 (糖尿病)	中井 義勝 (糖尿病)	清野 裕 (糖尿病)	長嶋 一昭 (糖尿病)	
216 TEL(4441)	担当医 (糖尿病)			担当医 (糖尿病)		
栄養指導室 TEL(4439)	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	
	栄養士 (糖尿病)	栄養士 (糖尿病)	栄養士 (糖尿病)	栄養士 (糖尿病)	栄養士 (糖尿病)	

2-G受付		血液・腫瘍科(A)				内線 4420 FAX 4421
診察室	曜日	月	火	水	木	金
260 TEL(4417)	ドナー外来	一般	一般	ドナー外来	一般	一般
	担当医 (血液)	岡崎 俊朗 (血液)	堀 利行 (血液)	担当医 (血液)	岡崎 俊朗 (第2,4週のみ) (血液)	
261 TEL(4418)	一般	一般	一般	一般	一般	一般
	高橋 淳 (血液)	石川 隆之 (血液)	門脇 則光 (血液)	今田 和典 (血液)	高折 晃史 (血液)	
262 TEL(4419)	一般	一般	一般	血液・止血・血栓	一般	一般
	一戸 辰夫 (血液)	内山 卓 (血液)	山本 孝吉 (血液)	高山 博史 (血液)	笹田 昌孝 (血液)	

2-G受付		免疫・膠原病科(B)				内線 4420 FAX 4421
診察室	曜日	月	火	水	木	金
264 TEL(3680)	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病
	梅原 久範 (免疫)	藤井 隆夫 (免疫)	藤井 隆夫 (免疫)	三森 経世 (免疫)	白井 崇 (免疫)	
265 TEL(3681)	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病
	田中 真生 (免疫)	長岡 研五 (免疫)	田中 真生 (免疫)	藤田 宗 (免疫)	藤田 義正 (免疫)	
266 TEL(4568)		免疫・膠原病	消化器科が使用	免疫・膠原病	免疫・膠原病	
		有馬 俊裕 (免疫)		川端 大介 (免疫)	梅原 久範 (免疫)	

2-C受付		循環器科(H)				内線 4445 FAX 4450
診察室	曜日	月	火	水	木	金
222 TEL(3682)	心臓病	心臓病	心臓病	心臓病・運動療法	心臓病	心臓病
	桑原 宏一郎 (内分泌)	川上 利香 (内分泌)	原田 昌樹 (内分泌)	樹田 出 (内分泌)	堀内 久徳 (1,3,5週) (老年)	
223 TEL(3683)	心筋症・心不全	心臓循環器	心臓循環器	心臓循環器	心臓循環器	心臓循環器
	岸本 千晴 (循環器)	当麻 正直 (循環器)	赤尾 昌治 (循環器)	藤田 正俊 (循環器)	細川 了平 (循環器)	
224 TEL(4455)	虚血性心疾患	虚血性心疾患	心筋症・心不全	不整脈・A-V-X-X-X	虚血性心疾患・高脂血症	虚血性心疾患・高脂血症
	神原 直樹 (循環器)	由井 芳樹 (循環器)	松森 昭 (循環器)	静田 聡 (循環器)	久米 典昭 (循環器)	
225 TEL(4447)	心臓循環器	心臓循環器	心臓循環器	心臓循環器	心臓循環器	心臓循環器
	長谷川 浩二 (循環器)	松田 哲也 (循環器)	長谷川 浩二 (循環器)	木村 剛 (循環器)	大庭 宗夫 (循環器)	
226 TEL(4448)	心臓循環器・初診	心臓循環器・初診	心臓循環器・初診	心臓循環器・初診	心臓循環器・初診	心臓循環器・初診
	木原 康樹 (循環器)	木村 剛 (循環器)	佐藤 幸人 (循環器)	木原 康樹 (循環器)	古川 裕 (循環器)	
227 TEL(4449)	虚血性心疾患・高脂血症	心臓循環器	心臓循環器	虚血性心疾患・高脂血症 北 徹(1,3,5週)	心臓循環器	心臓循環器
	久米 典昭 (循環器)	担当医 (循環器)	田村 俊寛 (循環器)	担当医 (循環器)	担当医 (循環器)	

2-D受付		老年科(J)				内線 4445 FAX 4450
診察室	曜日	月	火	水	木	金
227 TEL(4449)						物忘れ外来 武地 一 (1,3,5週) (老年)
228 TEL(3685)	加齢総合外来	加齢総合外来	加齢総合外来	加齢総合外来	加齢総合外来	加齢総合外来
	荒井 秀典 (老年)	横出 正之 (老年)	長野 豊 (2,4週) (老年)	若月 芳雄 (老年)		
229 TEL(3686)	老年神経内科	加齢総合外来	加齢総合外来	加齢総合外来	加齢総合外来	加齢総合外来
	松林 公蔵 (老年)	堀内 久徳 (老年)	出木谷 寛 (老年)	荒井 秀典 (老年)	田中 誠 (老年)	
234 TEL(4454)			物忘れ外来		物忘れ外来	
			田中 誠 (老年)		武地 一 (老年)	
235 TEL(3719)					物忘れ外来 山田 伸一郎 (老年)	
241 TEL(4571)	認知リハビリ					
	田中 誠 (老年)					

物忘れ外来は完全予約制(751-4445)に午後電話して下さい

2-D受付		神経内科(K)				内線 4445 FAX 4450
診察室	曜日	月	火	水	木	金
230 TEL(3738)	一般・てんかん	一般	一般・在宅医療相談	一般	一般・てんかん	一般・てんかん
	池田 昭夫 (神内)	富本 秀和 (神内)	辻 輝之 (神内)	河本 恭裕 (神内)	松本 理器 (神内)	
231 TEL(3739)	一般・脳血管障害	一般	一般・運動異常症	一般	一般・運動異常症	一般・運動異常症
	橋川 一雄 (神内)	花川 隆 (神内)	目崎 高広 (神内)	池田 昭夫 (神内)	目崎 高広 (神内)	
232 TEL(4456)	一般・パーキンソン病	一般・脳血管障害	一般・痴呆症	一般・痴呆症	一般・パーキンソン病	
	福山 秀直 (神内)	斎木 英資 (神内)	富本 秀和 (神内)	下濱 俊 (神内)	澤田 秀幸 (神内)	
233 TEL(4457)	一般	一般・痴呆症	一般	一般	一般	
	長峯 隆 (神内)	木原 武士 (神内)	高橋 牧郎 (神内)	まつい 松井 大 (神内)	美馬 達哉 (神内)	
234 TEL(4454)	一般・運動失調症				一般	
	河本 恭裕 (神内)				下濱 俊 (神内)	

外来診療担当医表 2階 外科系 (2003年 7月) 京都大学医学部附属病院

2-F受付		歯科口腔外科(140)					内線 3729 FAX 4550
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
予診室1 251 TEL(4548)		西田 光男	坪井 陽一	安田 真也	別所 和久	村上 賢一郎	
予診室2 252 TEL(4549)		高橋 克	白井 泰彦	飯塚忠彦(再診)	後藤 和久	山村 功	
ポリクリ室 253 TEL(4531)		飯塚 忠彦 飯田 正人 吉田 和也	村上 賢一郎 高橋 克(2.4週) 山村 功(1.3.5週)	西田光男(2.4週) 別所和久(1.3.5週) 安田 真也	村上賢一郎(再診)		
診察室 20番 TEL(3730)	20-1	安藤 志保			安藤 志保	安藤 志保	
	20-2	大久保 康則		大久保 康則			
	20-3	白井 泰彦	白井 泰彦		白井 泰彦		
	20-4	坪井 陽一	坪井 陽一	後藤 和久	後藤 和久	後藤 和久	
	20-5	高橋 克		高橋 克	山村 功	山村 功	
	20-6	園部 純也	吉田 和也	吉田 和也(初診2)	吉田 和也		
	20-7	安田 真也	田村 佳代	安田 真也	別所 和久		
	20-8	西田 光男			西田 光男	村上 賢一郎	
	20-9	高藤 洋之	山本 博充	山本 博充	酒井 達也	山本 博充	
処置室 250	午前						
	午後		吉田 和也		山村 功(1.3.5週) 高橋 克(2.4週)		
専門外来 (午後)	20-3	顎矯正 西田 光男 高橋 克 (1.3.5週)				顎矯正 西田 光男 山村 功 横江義彦(1.3週) 宮本克明(3週のみ)	
	20-6	睡眠呼吸障害 吉田 和也 坪井 陽一 (1.3.5週)					
	20-7	顎関節 村上 賢一郎 山村 功 (2.4週)					
	251	腫瘍外来 西田 光男 安田 真也	顎顔面骨骨折 坪井 陽一 山村 功		顎顔面骨骨折 別所 和久 山村 功	インプラント 坪井 陽一 安田 真也 高橋 克	

* 専門外来は、基本的には再診のみです。

(医師席番号)			
251	初診医師	20-5A	青井
251A	藤田		
251B	西田	20-6A	海原
253A	飯塚	20-6B	東條
253B	村上	20-6D	吉田
20-1A	岩崎	20-7A 20-7B	別所 坪井
20-2A	金下		
20-2B	加納	20-8A	安田
20-3A	横江	20-9A	高橋
20-3B	岡本	20-9B 20-9C	橋元 川畑
20-4A	近藤		

2-G受付		放射線科核医学科(150)					内線 4420 FAX 4421
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
255 TEL(4564)		甲状腺 東 達也 (午後のみ)	核医学・画像診断 安里 令人		放射線治療 小久保 雅樹 (最終週のみ)	IVR・局所療法 柴田 登志也 (午後のみ)	
256 TEL(4565)	午前	放射線治療 荒木 則雄 (1.2週)	治療新患 楠原 和朗	治療新患 立入 誠司	画像診断・IVR 伊藤 亨	腫瘍 永田 靖	
	午後				放射線治療 小野 公二 (2.4週)		
257 ポリクリ室 TEL(3423)	午前						
	午後	ラジオサージャリー 大屋 夏生 高橋 潤					
258 TEL(4566)		放射線治療 溝脇 尚志	放射線治療 永田 靖	放射線治療 平岡 真寛	放射線治療 大屋 夏生	放射線治療 光森 通英	
259 TEL(4567)		治療新患 高山 賢二	放射線治療 荒木 則雄	放射線治療 柴田 徹	治療新患 坂本 隆史	治療・腫瘍新患 崔 秉哲	
中診地下(2室) TEL(3532)		中診 担当医2	中診 担当医4	中診 担当医5	中診 担当医3	中診 担当医6	
中診地下(3室) TEL(3532)		中診 担当医11	中診 担当医8	中診 担当医9	中診 担当医10	中診 担当医7	
中診地下(4室) TEL(3532)		中診 担当医1	中診 担当医12	中診 担当医13			
R1診療棟 TEL(3543)						甲状腺 東 達也	
南西放治 101		南西担当医1 南西担当医2 南西担当医3					

部「中診放射線治療」外来は予約センターで予約を取らないこと

2-E受付		脳神経外科(170)					内線 3729 FAX 4550
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
235 TEL(3719)		北条 雅人	山田 圭介(午後)			化学療法 G高橋潤 高橋淳	
236 TEL(3720)		佐藤 徹	高木 康志			北条 雅人	
237 TEL(3721)		定藤 章代	菊田 健一(午前) ラジオサージャリー(午後) 高橋 潤 大屋 夏生			高木 康志	
238 TEL(3722)		高橋 淳	三國 信啓			三國 信啓	
239 TEL(4569)		高橋 潤	高橋 潤		担当医 (新患のみ)	高橋 淳	
240 TEL(4570)		野崎 和彦	神経心理 大東祥孝(午後)	担当医 (新患のみ)	神経心理 大東祥孝(午後)	野崎 和彦	
241 TEL(4571)			橋本 信夫				

半年以上受診していない患者は、水・木曜でも受診可能
ラジオサージャリー外来は午後

3-B受付		小児科(080)				内線 3709 FAX 4495
診察室	曜日	月	火	水	木	金
311 TEL(3710)		ボリクリ (平家 俊男)	アルキ- 楠 隆		アルキ- 楠 隆	小児心療 高尾 龍雄
312 TEL(3711)		心臓 平海 良美	代謝内分泌 ままだめつゆ 儘田 光和	血液 小林 道弘	血液 小林 道弘	心臓 土井 拓
313 TEL(4503)		心臓外来 土井 拓	代謝内分泌 百井 亨(第4週のみ) 未熟児 西田吉伸(第4週を除く)	血液 足立 壮一	免疫・アレルギー 西小森 隆太	神経 服部 春生
314 TEL(4504)		神経 服部 春生	代謝内分泌 河井 昌彦	代謝内分泌 依藤 亨		代謝内分泌 依藤 亨
315 TEL(4505)		一般外来 中畑 龍俊	一般外来 依藤 亨 (ボリクリ兼)	一般外来 服部 春生	一般外来 平家 俊男 (ボリクリ兼)	一般外来 平家 俊男 (ボリクリ兼)
316 TEL(4506)		未熟児 河井 昌彦	小児心理 友久 久雄 松浦 ひろみ(血液)	代謝内分泌 黒川 啓二		
317 TEL(4507)		発達テスト 中瀬 潤	血液 足立 壮一			発達テスト 内田啓子・大東美智子 (隔週交代)

「小児心理」友久Dr.は予約センターで予約を入れないこと

産科婦人科(070)		内線 3712 FAX 4501				
診察室	曜日	月	火	水	木	金
予診室 TEL(4559)		予診医師	予診医師	予診医師	予診医師	予診医師
318 TEL(4502)		ボリクリ 藤井 信吾	思春期・更年期外来 南部 香成子	婦人科外来 樋口 壽宏	思春期・更年期外来 門間 千佳	婦人科外来 福原 健
319 TEL(4496)		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
320 TEL(4497)		産科外来 佐川 典正	産科外来 角井 和代	産科外来 竹村 真紀	産科外来 伊東 宏晃	産科外来 小阪 謙三
321 TEL(4498)	A	婦人科外来 由良 茂夫	婦人科外来 万代 昌紀	婦人科外来 高倉 賢二	婦人科外来 志馬 裕明	婦人科外来 刈谷 方俊
	B	婦人科外来 馬場 長				
322 TEL(4499) 322	A	妊孕外来 藤原 浩	妊孕外来 巽 啓司	妊孕外来 吉岡 信也	妊孕外来 佐藤 幸保	妊孕外来 吉岡 信也
	B	妊孕外来 吉岡 信也		妊孕外来 江川 美保		妊孕外来 西岡 良泰

新患及び予約無しで半年以上来院していない患者は診察前に問診票を記入し必ず予診室で予診を受ける。その後319号室で診察

3-A受付		眼科(060)				再診 FAX 4495
診察室	曜日	月	火	水	木	金
301 TEL(4481)	午前	一診(新患) 高木 均	一診(新患) 田邊 晶代	一診(新患) 桐生 純一	一診(新患) 西脇 弘一	一診(新患) 鈴間 潔
	午後		網膜色素変性 高橋 政代		黄斑 高木 均 (1,2,4週)	眼窩疾患 板谷 正紀
302 TEL(4482)	午前	二診 宮本 和明	二診 板谷 正紀	二診 愛川 裕子	二診 鈴間 潔	二診 春田 雅俊
	午後				斜視・弱視 鈴間 潔	
303 TEL(4483)	午前	二診 春田 雅俊	二診 森澤 明子	二診 板谷 正紀	二診 沢村 恵	二診 沢村 恵
	午後		ERG 担当医		斜視・弱視 高橋 聡子 (3週のみ)	
304 TEL(4484)	午前	緑内障 田邊 晶代	糖尿病 高木 均		ぶどう膜 桐生 純一	網膜循環 高木 均
	午後				黄斑 桐生 純一	
305 TEL(4485)	午前	緑内障 尾島 知成	糖尿病 渡部 大介	神経眼科 宮本 和明	ぶどう膜 宮原 晋介	網膜循環 西脇 弘一
	午後				黄斑 愛川 裕子	
306 TEL(4486)	午前	緑内障 愛川 裕子	糖尿病 桐生 純一	神経眼科 赤木 忠道	ぶどう膜 喜多 美穂里	網膜循環 今本 求
	午後				黄斑 高橋 政代	
307 TEL(4487)	午前	緑内障 沢村 恵	糖尿病 西脇 弘一	神経眼科 平田 裕也	ぶどう膜 森澤 明子	網膜循環 宮本 和明
	午後	角膜 沢村 恵			黄斑 種村 舞	
308 TEL(4488)	午前	緑内障 宮脇 貴也	糖尿病 広瀬 文隆	神経眼科 鈴間 泉	ぶどう膜 田邊 晶代	網膜循環 村上 智昭
	午後				黄斑 万代 道子	
309 TEL(4489)	午前	緑内障 湯 才男 千原悦夫(1,3週)	糖尿病 鈴間 潔	神経眼科 春田 雅俊	ぶどう膜 田村 寛	網膜循環 大橋 啓一
	午後	コンタクト 担当医	ロービジョン 高橋 政代		黄斑 春田 雅俊	コンタクト 担当医
310 TEL(4491)	午前	緑内障 板谷 正紀	糖尿病 栗本 雅史	二診 半田 忠良	ぶどう膜 三浦 真二	網膜循環
	午後	視力・視野検査 視力・視野検査			黄斑 勝田 英人	視力・視野検査

専門外来は全て予約制です。

3-F受付		耳鼻咽喉科(110)				内線 3731 FAX 4525
診察室	曜日	月	火	水	木	金
337 TEL(4529)		三診(処方) 担当医	音声腫瘍・外来 安里 亮	三診(処方) 担当医	三診(処方) 担当医	三診(処方) 担当医
339 TEL(3732)			咽喉・口蓋裂 睡眠時無呼吸障害 倉田 響介	人工内耳 内藤 泰(1,3,5週) 伊藤 善一(2,4週) 補聴器(午後)	音声外来 安里 亮 (1,3週)	
341 TEL(4528)		二診(一般) 小島 憲	二診(一般) 森田 武志	二診(一般) 小島 憲	二診(一般) 辻 智子	二診(一般) 田村 哲也
342 TEL(4527)	午前	一診(初診) 伊藤 壽一	一診(初診) 田中 信三	一診(初診) 池田 晴人	一診(初診) 内藤 泰	一診(初診) 辻 純
	午後				頭頸部腫瘍・甲状腺 田中 信三	
343 TEL(4526)		午前	咽喉・口蓋裂 睡眠時無呼吸障害 平塚 康之	難聴 森田 武志	鼻・副鼻腔 竹林 慎二	
		午後		難聴 藤村 聡	頭頸部腫瘍・甲状腺 平塚 康之	
344 TEL(4524)		中耳炎・顔面神経 藤本 康子	耳鳴・難聴 辻 純 細胞診 担当医	鼻・副鼻腔 中川 隆之 (午前)	めまい 藤野 清大	
345 TEL(4523)		午前	滲出性中耳炎 辻 純	中耳炎 顔面神経 金丸 眞一	耳鳴・難聴 藤野 清大	音声外来 山下 勝
		午後			頭頸部腫瘍・甲状腺 安里 亮	
346 TEL(4522)		午前		新生児乳幼児難聴 岩井 詔子	音声 田中 信三	めまい 内藤 泰
		午後		音声 金丸 眞一 (2,4週)	腫瘍外来 池田 晴人	
言語検査室 TEL(3344)						

専門外来はすべて予約制
初診と二診の担当医は日々変更の可能性があります。
初診担当医は初診の患者のみ診察(Dr宛の紹介状を持参した場合を除く)

3-D受付		泌尿器科(100)				内線 3700 FAX 4501
診察室	曜日	月	火	水	木	金
323 TEL(4500)		一般 伊藤 哲之		一般 清川 岳彦	一般 賀本 敏行	
324 TEL(4521)		一般 小川 修		前立腺 賀本敏行(午前)	一般 小川 修	
325 TEL(3701)		一般 山本 新吾		一般 木下 秀文	一般 羽瀨 友則	フェイザージャリ-予約 担当医
超音波室 326 TEL(4517)						
327 TEL(3702)	新患/一般 担当医(午前)		新患/一般 担当医	新患/一般 担当医	新患/一般 担当医	新患/一般 担当医
	膀胱腫瘍 西山博之(午後)					
328 TEL(3703)		一般 高橋 毅	新患/一般 伊藤 哲之 (1,2,3,4週)	一般 西山 博之	一般 東 新	
329 TEL(4515)		尿失禁・排尿障害 清川岳彦(1,3,5週) 東 新(2,4週)	尿失禁・排尿障害 上田 朋宏 (3週のみ)	腎移植 山本新吾(1,3,5週) 伊藤哲之(2,4週)	不妊 西山博之(午後)	
超音波室 330 TEL(4518)		前立腺エコー 木下秀文(午後)			前立腺エコー 清川岳彦(午後)	

専門外来は予約制です。
(木)不妊外来の受付は、新来14:00、再来15:00まで
(月)(木)前立腺エコー外来の受付は14:00まで

3-E受付		皮膚科(090)				内線 3714 FAX 4525
診察室	曜日	月	火	水	木	金
334 TEL(3715)	午前	水疱症/アトピー 松吉 徳久	膠原病/皮膚外科 立花 隆夫	褥瘡/静脈瘤 是枝 哲/三富陽子 (1,3,5週)	皮膚外科一般 是枝 哲	皮膚外科/潰瘍 是枝 哲
	午後					
335 TEL(4509)	午前	光線過敏症/一般 松村 由美	一般 下中 美香	褥瘡/静脈瘤 立花 隆夫/三富陽子 (2,4週)	アトピー/一般 松村 由美	乾癬/膠原病 高橋 健造
	午後					
336 TEL(4510)	午前	一般 信原 聡美	尋麻疹/一般 神戸 直智	アトピー/一般 神戸 直智	一般 藤澤 章弘	一般 生駒 晃彦
	午後					
338 TEL(4511)	午前	真菌症/乾癬 出射 敏宏	脱毛症 中村 元信	一般 長町 美野子	び瘡/一般 中村 元信	アトピー/真菌症/一般 出射 敏宏
	午後					
340 TEL(4512)	午前	皮膚掻痒症 生駒 晃彦	一般 藤澤 章弘	リンパ腫/潰瘍 梶島 健治	接触性皮膚炎/一般 梶島 健治	一般 藤澤 章弘
	午後	接触性皮膚炎 梶島 健治 (予約のみ)				
予診室 331 TEL(4514)		午前				
		午後				
332 TEL(3718)	午前	初診 宮地 良樹	初診 高橋 健造	初診 松吉 徳久	初診 宮地 良樹	初診 立花 隆夫
	午後			外来回診 宮地 良樹	皮膚神経 尾崎 元昭 (1,3週)	
予診室 333 TEL(3706)		午前	担当医	担当医	担当医	担当医
		午後				

皮膚神経外来の受付は 13:00~15:00
接触性皮膚炎は予約センターで予約を入れない
パッチテスト希望の方は(水)、(木)の予診に予約を入れて下さい。 予診後中村Dr.が診察されます。
初診の担当医は日々変更の可能性があります。

4-E受付		外科(M)				内線 4460 FAX 4462
診察室	曜日	月	火	水	木	金
411 TEL(4468)		初診、一般 今村 正之 (一外)	初診、一般 鳶原 康行 (二外)	初診、胆膵、大腸 土井 隆一郎 (一外)	肝、胆、膵 鳶原 康行 (二外)	初診、大腸 小野寺 久 (一外)
412 TEL(4469)		肝、胆膵 藤本 康二 (一外)	食道、胃、大腸 長谷川 傑 (二外)	胃、大腸 長山 聡 (一外)	初診、一般 猪飼 伊和夫 (二外)	食道、胃、内分泌 嶋田 裕 (一外)
413 TEL(4470)		食道、胃、内分泌 伊丹 淳 (一外)	肝、胆、膵 波多野 悦朗 (二外)	食道、胃、大腸 渡辺 剛 (一外)	食道、胃、大腸 佐藤 誠二 (二外)	胃、胆膵 河本 泉 (一外)
414 TEL(4471)		食道、胃、大腸 川口 義弥 (一外)	肝、胆、膵 猪飼 伊和夫 (二外)	肝、胆膵 森 章 (一外)	肝、胆、膵 上杉 毅彦 (二外)	
415 TEL(4472)		乳腺(午後) 担当医 (二外)	乳 腺 加藤 大典 (二外)	乳腺(午後) 担当医 (二外)	乳 腺 加藤 大典 (二外)	ディ・サージャリー 加藤 大典 (二外)
416 TEL(3787)		化学療法 担当医 (二外)	乳 腺 竹内 恵 (二外)	乳 腺 竹内 恵 (二外)	乳 腺 稲本 俊 (二外)	乳 腺 稲本 俊 (二外)
417 TEL(3693)		移 植 高田 泰次 (移植外科)	小児、移植 藤本 康弘 (小児外、移植外)	化学療法 担当医 (二外)	移 植 笠原 群生 (移植外科)	化学療法 担当医 (二外)
418 TEL(3691)		移 植 江川 裕人 (移植外科)	移 植 江川 裕人 (移植外科)		移 植 尾池 文隆 (移植外科)	
419 TEL(3690)		移 植 小倉 靖広 (移植外科)	移 植 小川晃平(午前) 小崎浩一(午後) (移植外科)		小 児、移 植 上田 幹子 (移植外科)	肝、胆、膵 波多野悦朗(午後) (二外)
409 TEL(4466)						

1 外科のストマ外来は毎月第1、第2、第4水曜日で予約患者さんのみ
 2 外科の高圧酸素は午後のみ、新患は月曜、水曜受付不可
 移外の受付 月曜日は12:00~14:30
 2 外科416号室の乳腺外来(月・水)は12:00~14:30

ディサージャリー受付 (内線4580)

4-E受付		心臓血管外科(220)				内線 4460 FAX 4462
診察室	曜日	月	火	水	木	金
410 TEL(4467)			心臓外科外来 米田 正始	心臓血管外科外来 西村 和修		心臓血管外科外来 小山 忠明
409 TEL(4466)			心臓外科外来 池田 義	心臓血管外科外来 仁科 健		小児心臓外科 池田 義 (1,3,5週のみ)
408 TEL(4465)			心臓外科外来 三和 千里(~7/8) 大野 暢久(7/15~)			

4-E受付		形成外科(190)				内線 4460 FAX 4462
診察室	曜日	月	火	水	木	金
406 TEL(4463)		一般 森本 尚樹	瘻痕拘縮・ケロイド 鈴木 茂彦	一般 川添 剛	唇裂・口蓋裂 小耳症 鈴木 茂彦	一般(午前) 手足再建外科(午後) 鈴木 義久
407 TEL(4464)		担当医	一般・手足 沢辺 一馬	担当医	再建外科 片岡 和哉	大矢 浩史
408 TEL(4465)					言語外科 竹内 真理子 (2,4週)	
酒井 達也 TEL(3693)						

4-D受付		呼吸器外科(390)				内線 3415 FAX 4591
診察室	曜日	月	火	水	木	金
403 TEL(4927)		和田 洋己 手掌多汗症 李 美於(午後のみ)	花岡 伸治	和田 洋己	中村 達雄	長谷川 誠紀
404 TEL(4928)		柳原 一広	阪井 宏彰 川島 正裕 (隔週)	田中 文啓	李 美於	板東 徹

4-D受付		麻酔科(160)				内線 3415 FAX 4591
診察室	曜日	月	火	水	木	金
405 TEL(3442)		角山 正博 宮崎 嘉也		宮崎 嘉也 久野 太三		角山 正博 久野 太三

再 診